

## 『みずちぼん』

新井洋行／さく 童心社 2011

すいどうのじゃぐちから てるみず。おふろに たつぷり たまったみず。ひょうじょう ゆたかな みずたちが つぎつぎに おちてきます。—シンプルですが水の勢いを感じられて、赤ちゃんからでも楽しめる絵本です。



## 『フェリーターミナルのいちにち』

石橋真樹子／さく 福音館書店 2012

フェリーが とうちゃく しました。おるる くるま、のる くるま、はたらく くるま、いろいろな くるまが いそがしく うごかします。フェリーターミナルは たくさんのおきやくさんで、にぎやかです。「ヴォーツ」きてきが なり、べつの フェリーが みなとを はなれて きました。



## 『はなびドーン』

カズコ G. ストーン／さく 童心社 2012

くらい よぞらに 「シューツ」ととんで、「ドーン」「パパーン」「キラキラキラ」はなびです。そして また「シューツ」。つぎつぎと かたちを かえる うつくしい はなび。くりかえす おとと リズムの たのしさ、わくわくする はなびの ひみつが わかります。



## 『こんやははなびたいかい』

きしだえりこ／さく あべはるえ／え 福音館書店 2013

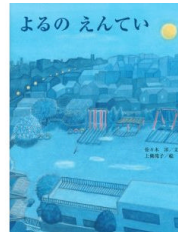
こんやは かわの むこうの はなびたいかい。かわの こちらがわの どうぶつえんからも、いろいろな どうぶつたちが はなびけんぶつをしています。はなびが まぶしかったり、びっくりしたり、それぞれ はなびを たのしんでいるようです。



## 『ちいさなうみのかくれんぼ』

齋藤禎／さく 福音館書店  
(ちいさなかがくのとも 2013年5月号)

しおが ひいた うみべの いわばには、しおだまりと よばれる「ちいさなうみ」が いっぱいです。そこには カニや さかななど たくさんのおきものが います。みんな かくれんぼが じょうずで、ちかづく と あつというまに かくれてしまいます。みつけられるかな。



## 『よるのえんてい』

佐々木洋／文 上條滝子／絵 講談社 2011

みんなが おうちに かえったら、えんていは からっぽ？いいえ、よるの えんていには、びっくりするほど いろんな いきものたちが います。いくつ みつかるかな。さいごの ページでは かくページに えがかれている いきものが ていねいに しょうかい されています。



## 『ホネホネさんのなつまつり』

にしむらあつこ／さく・え 福音館書店 2012

ホネホネさんは ゆうびん屋さん。もうすぐ なつまつりがあるので、まちの みんなは じゅんぴで はりきっています。いよいよ おまつりのひ、ホネホネさんも だいかつやくです。—人気者の「ホネホネさん」の絵本の第5作です。



## 『ゆうれいなっとう』

荻田澄子／文 大島妙子／絵 アリス館 2011

スーパーで かった「ゆうれいなっとう」。はしで かきまぜたら「ひゆう〜どろどろどろどろ〜」ねばーっつと いとを ひいたら「う〜ら〜め〜し〜や〜」ほんものの ゆうれいより ずーっつと こわい。くやしがつた ゆうれいが「ぱくりっ」なっとうを たべると…



## 『れいぞうこにマンモス!?』

ミカエル・エスコフィエ／文 マチュー・モデ／絵  
ふしみみさを／訳 光村教育図書 2012

あるひ れいぞうこを あけたら マンモスが…。まわりの おとなは びっくりして、つかまえようと おおさわぎします。マンモスは いったい どうなるのでしょうか？ マンモスの かわいい めに ちゅうもくして よんでみてください。



## 『ねっこばあのおくりもの』

藤真知子／作 北見葉胡／絵 ポプラ社 2012

リネは、もりに かこまれた ホテルに とまりに きました。よなか はつと めが さめます。そして、よるに ひらかれている もりの パーティーに さんかし、そこで いろいろな はなしを ききます。つぎのひ、もりの たんけんツアーに でかけます。そこで みたものは …。



### 『いるのいないの』

京極夏彦／作 町田尚子／絵 岩崎書店 2012

おばあさんの いえで くらすことになった おとこのこ。おばあさんの いえは ふるくて、てんじょうが たかくて、くらい。くらい う えの ほうが きになって、なんども みあげてみた。すると…。この おはなしの さいごは、ひとには いわないで ください。



### 『おひさまみたいに』

スーザン・マリー・スワンソン／文 マーガレット・カドス＝アーヴィン／絵  
ふしみみさを／訳 ほるぷ出版 2012

おんなのこが ひまわりの たねを うえました。だいに そだてて、 やがて きんいろの はなを さかせます。それは、まるで おひさま みたい。ーダイナミックに描かれたひまわりが夏にぴったりで、優 しい気持ちになれる絵本です。



### 『いつでも星を』

メアリ・リン・レイ／文 マーラ・フレイジー／絵  
長田弘／訳 ブロンズ新社 2012

いつでも 星は そこに あるんだ。よぞらの なかに、こころの なか に。みえないかも しれないけれど、そこに あるもの。星の おはな しです。



### 『蛙のゴム靴』

宮沢賢治／作 松成真理子／絵 三起商行 2011

なかよしの 3匹の 蛙は、にんげんかいで はやる ゴム靴が ほしく なります。いろんな どうぶつたちの たすけで、1匹が ゴム靴を て にいれて、ごきげんです。およめさんも くることになりました。 ほかの 2匹は おもしろく ありません。さて、どうするかな？



### 『じゃがいもアイスクリーム?』

市川里美／作 BL 出版 2011

ルーチョの むらは たかい やまに あります。じゃがいもは むらで とれる たったひとつの たべものです。あさも ひるも ばんも おや つにも、じゃがいもを たべます。もうすぐ むらの おまつり。ルー チョは いちどだけ まちの おまつりで たべた、アイスクリームの ことを おもいだしていました。



このブックリストは出版社の許可を得て表紙を掲載しています  
2013年7月 発行★宮崎県立図書館 こどもしつ★でんわ (0985) 29-2596